

機内の「安全のしおり」と名刺に、石灰石を主原料とした「LIMEX」を採用！ ～水も木材パルプも使わない注目の新素材で、環境負荷の軽減へ～

- ・ 「安全のしおり」、4月1日機内搭載開始分から採用開始
- ・ Peach スタッフの名刺にも順次導入
- ・ 年間で約4万リットル(500ml ペットボトル8万本分)の水の消費を削減

Peach Aviation株式会社(以下:Peach、代表取締役CEO:森 健明)は、緊急対応や離着陸時のご案内などを明記した「安全のしおり」とスタッフの名刺に株式会社TBM(代表取締役CEO:山崎 敦義)が開発した新素材「LIMEX(ライメックス)」を採用いたします。



LIMEXとは、石灰石(炭酸カルシウム)などの無機物を主原料(50%以上含有)とした複合材料で、紙やプラスチックの代替となる新素材です。原料に水や木材パルプをほぼ使用しないため、水や森林など資源保全に貢献し、環境への負荷を軽減できる素材として、多方面より注目を浴びています。

この度Peachでは、機内で多くのお客様に閲覧いただく「安全のしおり」と、年間およそ9万枚を作成するスタッフの名刺にLIMEXを採用することを決定しました。これにより、年間で約4万リットル(500mlペットボトル8万本分)の水資源保全の効果*があると見込まれます。*株式会社TBM試算

なお、これまでPeachは、機体のシートカバーを作る際に余る端材を用いたオリジナルグッズの開発や、牛乳パックなど飲料容器の古紙をリサイクルした硬質段ボール「ミルダン」を使用した自動チェックイン機の導入など、環境に優しくそしてごみを減らす取り組みを行っています。

Peachは、これからも環境に配慮した素材の導入と検討を進めるとともに、サステナブルな社会の実現を目指す活動を積極的に推進してまいります。

LIMEXの詳細については、株式会社TBMのウェブサイト(<https://tb-m.com/limex/>)をご覧ください。

<ご参考>

プレスリリース:シートカバーの端材を利用した環境に優しいオリジナルグッズが誕生

https://corporate.flypeach.com/cms/wp-content/uploads/2019/12/191224_Press-Release-JP.pdf

Peach について(www.flypeach.com)

Peachは、2012年3月に関西空港を拠点として運航を開始しました。現在、関西空港に加え、新千歳空港、仙台空港、成田空港、福岡空港、那覇空港を拠点空港とし、33機の機材で、国内線22路線、国際線17路線に就航しています。Peachは「アジアのリーディングLCC」を目指し、2019年11月1日に、成田空港を拠点空港としていたパニラエアと統合しました。